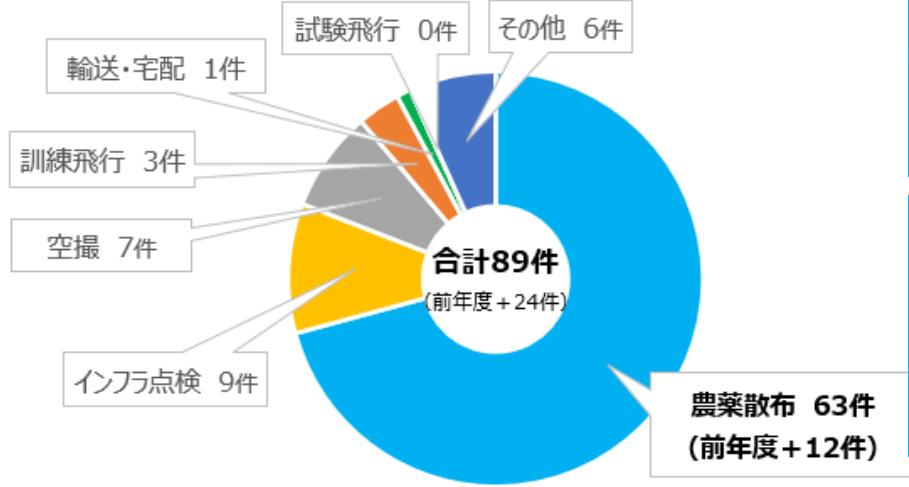


農薬散布における無人航空機の事故が多発しています。運航者の皆様には最大限の安全への配慮をお願いいたします。

事故件数の内訳（飛行の目的別）



ポイント

- 令和6年度の事故において、農薬散布関係が約7割。
- 農薬散布の事故件数は、前年度より増加。
- 操縦者が重傷を負う事故も発生。（運輸安全委員会による調査）
- 電柱、電線、道路標識への接触等による物件の損壊が多数発生。

原因

散布エリア内とその周辺の障害物の事前確認不足

- (例) 散布エリア内にある電線等が背景と同化してしまい、オペレーターが電線等に気づかず接触。
- (例) 電力線から一段下の電話線を見落としてしまい接触。

機体の機能について事前確認不足

- (例) 飛行モード選択を誤り、意図しない挙動となり架線と接触。
- (例) RTHを作動させたところ、機体が上昇して架線に接触。



事故を防ぐための事前確認ポイント

- 散布エリア内及びその周辺における障害物の確認
- 散布方法及び散布経路の確認
- オペレーター、ナビゲーターの位置確認
- 不測の事態が発生した場合における対処方法の確認

■ 散布前チェックリスト ■

- 散布エリア内とその周辺における障害物の位置を事前に確認しましたか。
・電柱、電線、標識、家屋、道路など
- 進行方向の先に障害物がある場合は、障害物と並行に散布経路を設定しましたか。
- オペレーターとナビゲーターの位置が適切か確認しましたか。
・足元が不安定ではないですか？　・散布エリア内を見渡せますか？
・逆光になっていませんか？　・障害物が背景色に溶け込んでいませんか？
- オペレーターとナビゲーターがお互いに見えますか。
- オペレーターとナビゲーターの連絡方法、連絡手段を相互に確認しましたか。
- オペレーターとナビゲーターで散布方法と散布経路を相互に確認しましたか。

ケガを防ぐために！

- 不用意に機体に近づかない！
- 回転するプロペラに手を出さない！
- 強制停止等の操作手順を確認しておく！

※負傷者が出了時は救護活動を行うこと！